法が改正されない以上眞の議會を望む事は出來ない、社大衆の改正意見は常に既成政黨に押へられてゐる狀態である。

肅軍にさへ禍を及し復々不祥事件を思はせるが如き既成政黨の態度は徹底的に議會から撲滅せねばならない今回の總選擧に依りて一般大衆は既成政黨を離れ無產政黨へと方向が變つた事を知る、吾々は大衆の方針に協力し益々正しきを延し不正を倒し以て國家の革新へ邁進せなければならぬ。

○　代議士　龜井貫一郎

第六十九特別議會には二十二名の無產代議士を出し政府反對たる第三黨になつたのである、今日は去る總選擧以來の政治動向を述べて益々吾黨の支援を願ふ次第である。

廣田內閣は軍當局よりの註文を入れて漸く組閣するに至つたがこの註文がどらやら內閣の命取になりそうである軍の條件たる1、國民生活の安定、2、外交の革新、3、國家產業の發展、4、國防の完遂は資本主義を潰す外に方法はないが、それが廣田內閣に出來るや否や。

又今議會に提出された四十五の法律案は凡んど前岡田內閣の申送りで只退職積立金及退職手當法のみか廣田內閣で造られたのであるがそれも藤原銀次郎の威嚇に會ひ遂に五十人以上にして仕舞つた、二、二六事件で退却した資本家は肅軍によりて再びノサバリ出したがこれが何時迄續くか。

肅軍と財閥の元老引退で各々責任を取つたにも不拘らず既成政黨の幹部はどうしたか新らしく軍部が出直した場